

令和7年度第2回浜松市博物館協議会 会議録

第1 開催日時

令和7年11月14日（金）午後2時から午後2時55分まで

第2 開催場所

浜松市博物館 2階会議室

第3 出席状況

（出席委員）

現地参加：笹原恵、田中裕二、二本松康宏、村松健史、渡部いつみ

Web参加：廣瀬憲雄

（欠席委員）西田かほる、山本久美子

（事務局）

鈴木一有博物館長、中村和隆博物館長補佐、村松輝和運営G長、
橋本充悠主任、鈴木奈々主任、中村浩章主任、鳥居恒平、井口美奈

第4 傍聴者

なし

第5 議題、内容及び結果

(1) 令和6年度事業評価について

(2) 浜松市文化財保存活用地域計画の進捗管理・事業評価について

(3) その他

意見、質問の詳細は「第8 発言内容」のとおり。

第6 会議資料の名称

- 1 資料 1-1 浜松市博物館事業評価
- 2 資料 1-2 令和6年度博物館事業評価
- 3 資料 2-1 浜松市文化財保存活用地域計画＜概要版＞

- 4 資料 2-2 「浜松市文化財保存活用地域計画」の進捗管理・事業評価について
— 博物館事業に係るもの —
- 5 資料 2-3 進捗管理・事業評価シート

第7 発言内容記録方法

文字 / 録画 / 録音

第8 発言内容

1 開会

博物館長補佐 (開会)

博物館長補佐 本日の会議だが、事務局で会議録を作成するため、録音させていただく。

博物館長補佐 浜松市博物館条例第 21 条第 1 項の規定によれば、本会議の議長は会長だが、議事に入るまでの間、私が司会を務める。

博物館長補佐 定足数の確認を行う。
全委員 8 人中、6 人が出席であり、浜松市博物館条例第 21 条第 2 項で規定する定足数に達しているため、本会議は成立する。

2 挨拶

博物館長 (挨拶)

3 議事

博物館長補佐 ここからは、笹原会長に議事進行をお願いします。

笹原会長 議事の進行を務めるので、皆様のご協力をお願いしたい。

まず、会議録署名人の指名について、会長が指名し

た1名が署名を行うことになっている。
本日の会議録の署名は、廣瀬委員に願います。

廣瀬委員 (了承)

笹原会長 次に、会議の公開についてお諮りする。
「浜松市附属機関の会議の公開に関する要綱」第4条第1項により、当会議は原則的に公開である。
ただし、事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるもの、市の機関及び国等の審議、検討又は協議に関する情報で公にすることにより、意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるものなどの「非公開情報」を扱う場合は、その全部又は一部を非公開にすることができるとされている。
本日は、これに該当する部分のみ非公開にすることとするが、異議はないか。

委員 (異議なし)

(1) 令和6年度事業評価について

笹原会長 それでは、議事の1番目、令和6年度事業評価について、事務局から説明をお願いします。

橋本 (資料に基づき説明)

笹原会長 質問等はあるか。

笹原会長 ある蔵の現状について補足してほしい。

橋本 内容を修正して令和7年11月4日から公開を再開したが、点数が少ないのが課題。
定期的に内容を見直ししながら公開件数を増やしてい

きたい。

渡部委員

現在、ある蔵では資料の何パーセントが公開されているのか。

橋本

現状で公開している資料は収蔵資料の1パーセント未満。

博物館長

今後、公開件数を増やすのか、既に公開している情報の精度を上げるのか、精査していきたい。

橋本

情報公開の面では多くの資料情報を公開したいが、写真データや詳細情報を公開するには時間がかかる。

笹原会長

新たに収蔵した資料から公開するのか。

橋本

新たな資料は博物館で発行している「博物館情報」で紹介している。

廣瀬委員

ボランティア養成のために2年間毎月1回、計24回講座を行い、卒業証書を授与した方にボランティアになってもらうなど、歴史好きな人が勉強する環境を整えている自治体がある。

浜松市で同じことをやることは難しいかもしれないが、参考にしてほしい。

橋本

展示に合わせて実施する「はまはく講座」に一般参加者とは別枠で優先的に参加してもらい、浜松市の歴史について学んでいただく機会を提供している。講座で学んだことをガイドで活用してもらいたい。

- 廣瀬委員 新たなボランティアを発掘する工夫を検討してほしい。
- 笹原会長 収蔵施設の設備を整えることは文化財保護のために必須であると考えますが、状況を教えてほしい。
- 橋本 令和 7 年度から収蔵エリア環境調査事業を開始した。
温湿度管理に課題があると認識はしていたが、具体的な数値データを元に課題と必要な対策を複数年かけて検証していく。
- 博物館長 温湿度管理のためには、予算投下して施設整備を進めることが必要。
今後、重要文化財など、より重要でデリケートな資料を扱うため、施設整備の必要性は高いと認識している。上席にも繰り返し伝えていきたい。
- 笹原会長 重要な事項であるため、協議会の意見も含めて丁寧に説明してほしい。
- 村松委員 特別展や企画展は、大河ドラマなど、大勢に視聴されるものに合わせた内容にすれば、来館者の増加につながるのではないか。
- 博物館長 社会情勢、旬の話題に合わせて企画を実施するべきと考えている。
博物館だけでなく、観光部門などと連携して浜松市全体で取り組みたいと考えている。
- 笹原会長 SNS での情報発信の現状と今後について教えてほしい。

鈴木	展示内容や体験活動のほか、展示準備の様子を発信して期待度を高めている。 取材などの広報活動にも力を入れている。
笹原会長	SNS 発信から注目を集めることがあるため、ファンやリピーターを増やしてほしい。
博物館長	普段の日常業務の報告が注目を集めることもあった。
鳥居	学校利用の様子の発信や、教職員向けの研修を実施し子どもに還元できる機会を設けることに力を入れている。
笹原会長	教職員タブレットから博物館に直接アクセスできないが、改善できないか。
鳥居	図書館のデジタルアーカイブにアクセスできるため、そこから収蔵資料を見ることができる。
笹原会長	広報は重要なため、アイコンを作るなどの工夫をしてほしい。
笹原会長	他に質問等はあるか。
委員	(特になし)

(2) 浜松市文化財保存活用地域計画の進捗管理・事業評価について

運営 G 長 (資料に基づき説明)

笹原会長 質問等はあるか。

笹原会長	博物館運営事業等の計画進捗の遅れ状況について報告してほしい。
運営 G 長	博物館資料の管理状況の改善を優先した結果として遅れが生じた。 事業計画自体は着々と進めている。
博物館長	本計画は明るい未来の展望を見込んで作成されているが、現実問題として財政状況が厳しくなり、博物館・公園施設の整備は予算投下の優先順位をつけて取り組む必要がある。 課題を先延ばしにしているわけではなく、財政状況を見ながら対応していることをご理解いただきたい。
笹原会長	予算状況が厳しいことは承知している。 必要な予算を確保できるよう対応してほしい。
笹原会長	他に質問等はあるか。
委員	(特になし)
(3) その他 笹原会長	「その他」について事務局から何かあるか。
博物館長	(最近の博物館事業と今後の予定について報告)
事務局	(特になし)

4 閉会

会議録署名人 廣瀬 憲雄
(署名又は記名押印)